（昭和20年１月15日第三種郵便物認可）

since 1920

# 運輸新聞

E-mail inquiry@unyu.co.jp URL http://www.unyu.co.jp

発行所・運輸新聞株式会社
東京都荒川区西日暮里3-6-10
佐々木ビル3F 〒116-0013
TEL03-5685-0035
関西支社 大阪市中央区瓦町1-3-2
〒541-0048 TEL06-6209-3261
発行人・野口香織
火・金 発行（祝日を除く）
3,600円／月（送料・税込）

2020年
7月31日（金）
第17322号

TREX 先端のニーズに応える技術力で
輸送社会の未来を開く！
日本トレクス株式会社

## 全ト協 死亡事故統計分析結果

# ドライバー50歳以上が過半占める

全日本トラック協会は、交通事故総合分析センター委託により、2019年の交通事故統計分析結果をまとめた。

同年に営業用トラック事業者が第1当事者となった死亡事故件数は239件であり、前年より14件、2011年の347件より108件減少するなど、件数は減少傾向にある。

ただ、営業用トラック131万6028台（19年12月末現在）に対する1万台当たり死亡事故件数は1・8となり、目標の1・5を上回る状況にある。

死亡事故を発生地別にみると、大阪府18件、千葉県16件、埼玉県と神奈川県が15件、愛知県13件の順。

車籍別には、大阪府23件、千葉県18件、埼玉県16件、愛知県13件、茨城県12件と続く。

車籍地（県内）での事故は141件、他県での事故は98件と、車籍地以外での事故が41％を占めている（表参照）。

2011から19年にかけての傾向をみると、いずれも一般道路（高速道路以外）が8～9割を占める。一般道路上での死亡事故は、大型が5～6割を占める。

事故類型別には、いずれの年も「車両相互」が多く5～6割を占める。車両相互は、「追突」「駐停車中」と「左折時衝突」の割合が多く、特に左折時衝突は17年以降増加に転じ、18年は2割を超え車両相互の中で最も多い。

「人対車両」は「横断中」が5～6割を占め、また「路上横臥」も1割程度を占める。

「単独事故」は「駐車車両（運転者不在）」の割合が多い。

行動類型別には「等速（直進）」が6～7割を占める。左折は1割程度で推移している。

時間帯別は、15年までは「2～4時」「4～6時」が多かったが、16年以降は「4～6時」「10～12時」が多い。16年以降、午前中の割合が2割を超えている。

年齢層別には、全体的に高齢化の傾向がみられ、18年以降は50歳以上の割合が5割以上となっている。

運転者の免許取得年数別には、「10年以上」が19年は若干減ったが、依然87・7％と多くを占めている。

### 車籍別死亡事故発生状況（2019年）

| ワースト順位 | 車籍 | 件数 | 割合 | 内訳 県内 | 内訳 他県 | 他県発生率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 大阪 | 23 | 9.6% | 14 | 9 | 39.1% |
| 2 | 千葉 | 18 | 7.5% | 14 | 4 | 22.2% |
| 3 | 埼玉 | 16 | 6.7% | 10 | 6 | 37.5% |
| 4 | 愛知 | 13 | 5.4% | 10 | 3 | 23.1% |
| 5 | 茨城 | 12 | 5.0% | 4 | 8 | 66.7% |
| 6 | 北海道 | 10 | 4.2% | 10 | 0 | 0.0% |
| 7 | 神奈川 | 10 | 4.2% | 8 | 2 | 20.0% |
| 8 | 福岡 | 9 | 3.8% | 5 | 4 | 44.4% |
| 9 | 岡山 | 8 | 3.3% | 4 | 4 | 50.0% |
| 10 | 静岡 | 7 | 2.9% | 4 | 3 | 42.9% |
| 11 | 長野 | 6 | 2.5% | 2 | 4 | 66.7% |
| 12 | 兵庫 | 6 | 2.5% | 3 | 3 | 50.0% |
| 13 | 広島 | 6 | 2.5% | 2 | 4 | 66.7% |
| 14 | 鹿児島 | 6 | 2.5% | 5 | 1 | 16.7% |
| 15 | 宮城 | 5 | 2.1% | 2 | 3 | 60.0% |
| 16 | 香川 | 5 | 2.1% | 3 | 2 | 40.0% |
| | その他 | 79 | 33.1% | 41 | 38 | 48.1% |
| | 合計 | 239 | 100.0% | 141 | 98 | 41.0% |

※他県には不明を含む

### 1～6月の死亡事故は前年と同数に

営業用貨物車

警察庁の交通事故統計によると、今年6月末までの事業用自動車（軽トラックを除く）が第1当事者となる死亡事故件数は103件（前年同期と同じ）発生した。

内訳は、大型貨物車58件（前年同期比4件減）、中型25件（前年同期と同じ）、準中型18件（同4件増）、普通貨物2件（前年同期と同じ）。

なお、大中型の内数に含まれるトレーラは9件（前年同期と同じ）、軽貨物車は6件（同4件減）発生している。

自家用貨物車は92件で、内訳は大型貨物車17件（同5件増）、中型13件（前年同期と同じ）、準中型25件（同3件増）、普通貨物47件（同3件増）。

なお、軽貨物車は137件（同17件増）発生している。

### 事業用貨物車の死亡事故件数

単位＝件

| | 1～6月 | 1～12月 |
|---|---|---|
| 2016年 | 133 | 258 |
| 2017年 | 120 | 271 |
| 2018年 | 108 | 253 |
| 2019年 | 103 | 239 |
| 2020年 | 103 | |

# 越境EC高い成長率

## 物流レベル向上も要因に

経済産業省は、2019年の電子商取引に関する市場調査の結果をまとめた。国内BtoC－EC市場は19・4兆円（前年比7・65％増）、EC化率6・76％（同0・54ポイント増）、世界の越境EC市場は96・2兆円で27年まで平均年率27％の成長が見込まれるとしている。

国内BtoC－EC市場における物販分野は、10兆515億円（同8・09％）で初めて10兆円の大台に乗った。我が国の個人消費における物品購入は約149兆円と推計されており、おおむね横ばいで推移していることから、かつての10％以上の成長率よりは下回るものの依然として成長市場を裏付けている。

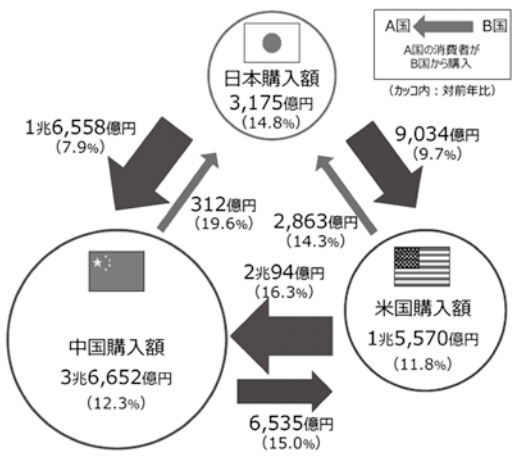
一方、越境ECは日・米・中の3カ国間では、日本からの購入額で米国向けは9034億円（同9・7％増）、中国向けは1兆6558億円（同7・9％増）と、米国・中国消費者の購買意欲は相変わらず高い。

ちなみに、中国による米国からの購入額は2兆94億円（同16・3％増）で、こちらの伸び率も旺盛。

世界の越境EC市場は今後も拡大が予測されており、27年までの8年間で5・3倍の成長をみている。これは、世界のBtoC－EC市場の拡大を上回るペースだ。

背景には、越境ECの認知度の上昇、自国にない商品への取得欲求、自国よりも安価に入手できる、商品やメーカーに対する信頼性などが挙げられる。さらに事業者の積極姿勢と同時に、物流レベルの向上も越境ECを促進する要因と指摘している。

日・米・中3カ国間の越境EC市場規模




## 日野自動車

# 今期の黒字化目指す

## 第1四半期 営業赤字106億円

日野自動車は29日、2021年3月期の連結業績が売上高1兆4100億円（前期比22・3％減）、営業利益20億円（同96・4％減）になりそうだと発表した。新型コロナウイルスの影響が、特に海外で想定以上として、「固定費の徹底的圧縮と原価改善努力で黒字化を目指す」（中根健人取締役・専務役員）。

第1四半期連結決算は売上高3003億9300万円（同32・7％減）、営業利益・経常利益・当期純利益はそれぞれ106億円・118億円・81億円の赤字となった。

トラック・バスのグローバル販売台数は、日本・海外とも大幅な減少となり、全体で2万7924台（同33・7％減）。国内は1万2516台（同15・0％減）、海外は主力のインドネシアやタイなどアジアの減少が大きく1万5408台（同43・8％減）。海外ではロックダウンや厳しい外出規制などが影響し大幅な販売減となった。中でもインドネシアは73・2％減と深刻。

ただ、国内シェアは34・3％と2・9ポイント増えている。バスは観光への打撃で335台（同47・0％減）。トヨタ向け車両も1万6550台（55・5％減）。

同社では第2四半期から緩やかな回復に向かい、第3でプラスに転じ、第4で通期の黒字化を達成する見通し。「回復スピードは期初予想からさらに遅くなっており、本格的な回復は23年とかになるのでは」と、まだまだ不透明さを指摘する。

通期のグローバル販売台数は、日本5万9000台（同11・7％減）、海外8万3500台（同26・4％減）、トヨタ向け8万8800台（36・3％減）を見込む。

## 労災発生

# 死傷者数は依然増加

## 1～6月 墜落・転落が30％

今年上半期（1～6月）の陸上貨物運送事業の労働災害発生状況は、死亡者数は33件（前年同期比4人、10・8％減）と減少傾向にあるが、死傷者数は6351人（同297人、4・9％増）と依然増加している。

今年は第13次5カ年計画の3年目。死亡者数は100人以下の目標をクリアできる状況にある。

一方、死傷者数は17・18年と大幅に増え、19年はやや下がったものの、高止まりの状況は変わっていない。今年1～6月はピークだった18年に比べてもわずか17人、0・3％の減にとどまった。

死傷者数を事故類型別にみると、最も多いのは墜落・転落の1839人で、全体の29％を占める。次いで動作の反動無理な動作1090人、転落1070人、はさまれ巻き込まれ673人、激突486人の順で、この5つで死傷事故全体の8割強を占め、5つとも前年同期より増えている。

### 10月に労働衛生週間

厚生労働省は、10月1日～7日まで「全国労働衛生週間」を実施する。

過労死などを防止するため、働き方改革の推進と相まって、長時間労働による健康障害の防止対策およびメンタルヘルス対策の推進などを徹底する。

### 盆休に367本のコンテナ列車を運転

JR貨物

JR貨物は、ゴールデンウィークやお盆休み、年末年始期間には、お客様の輸送事情に合わせて貨物列車の弾力的な運転を行っている。

今年度のお盆休みは、新型コロナウイルス感染症による経済的な影響が広がる中、生活必需品などの物流を支えるため、8月8日～17日の期間中に合計367本（前年比65・8％）のコンテナ列車を運転する予定。

## 螢

今年の梅雨も熊本県南部が記録的豪雨に見舞われ大洪水をもたらした。この時期になると毎年どこかで河川の氾濫、堤防決壊、土砂崩れなどによる住宅浸水で尊い人命が失われている。テレビで被災地の様子が映し出されているが、おびただしい流木が橋の欄干にひっかかり流れを堰き止めたり、民家を襲ったりしている◆日本は国土の7割が山林で、うち4割が人工林で戦後の拡大造林計画により杉や檜を植えたものだ。かつては住宅用に木材需要が多く林業も盛んであったが、輸入自由化により安い外材が入ってきたことにより林業が衰退していった。人工林は間伐されず木材として価値のない細い樹木に育ち、陽の光が届かない暗い林床には低木や草が育たず、保水力のない土砂崩れに弱い山林となり、杉や檜は今や国民病と言われる花粉症の原因にもなっている。テレビ番組に「ぽつんと一軒家」というのがあるが、かつて林業を生業として生活をしていた人達の痕跡であろう◆治山治水は国土保全の要諦である。治山は国家百年の計で、人工林を徐々に保水力が高く土砂崩れに強い広葉樹の自然林に転換していく必要がある。その為には林業青年、林業女子が脚光を浴びるような強力な施策が求められる。

YT（20・7・31）